

小村寿太郎：日露戦争後の講和条約（ポーツマス条約）の全権大使を務めた外交官。	
陸奥宗光：不平等条約のうち、領事裁判権の撤廃に成功した名外交官。	
東郷平八郎：日露戦争の日本海海戦でロシアのバルチック艦隊を撃破した軍人。	
乃木希典：日露戦争で旅順要塞を攻略し、明治天皇への忠義を貫いた陸軍大将。	
秋山真之：日本海海戦において、独自の戦術で連合艦隊を勝利に導いた参謀。	
高橋是清：数々の経済危機を乗り越え、「ダルマ宰相」の愛称で親しまれた財政家。	
原敬：初の本格的な政党内閣を組織し、「平民宰相」と呼ばれた。	
加藤友三郎：ワシントン軍縮会議で軍縮に合意し、国際平和を模索した政治家。	
岩崎弥太郎：三菱財閥の創始者で、日本の海運・産業の発展を牽引した実業家。	
渋沢栄一：約500もの企業の設立に関わり、「日本資本主義の父」と称される。	
福沢諭吉：『学問のすゝめ』を著し、啓蒙思想の普及と慶應義塾の創設を行った。	
新渡戸稲造：国際連盟事務局次長を務め、著書『武士道』で日本文化を世界に広めた。	
内村鑑三：キリスト教に基づき独自の「無教会主義」を唱えた思想家。	
岡倉天心：日本の伝統美術の価値を再発見し、保護・育成に尽力した。	
北里柴三郎：ペスト菌の発見や血清療法の開発など、日本の医学を近代化した。	
野口英世：黄熱病や梅毒の研究など、医学研究にその生涯を捧げた細菌学者。	
津田梅子：女子英学塾（現・津田塾大学）を創設し、女子教育の向上に捧げた。	
瓜生岩子：児童福祉の母として、孤児や貧困者の救済活動に一生を捧げた。	
後藤新平：近代都市づくりの父と呼ばれ、東京の震災復興などに手腕を発揮した。	
樋口一葉：『たけくらべ』などの名作を執筆した、明治期を代表する女性作家。	
夏目漱石：『坊っちゃん』『我輩は猫である』など、独自の文体で知られる文豪。	
森鴎外：陸軍軍医総監を務める傍ら、『舞姫』などの名作を遺した文豪。	
正岡子規：俳句や短歌を近代文学として再生させた文学者。	
与謝野晶子：情熱的な歌集『みだれ髪』や反戦詩『君死にたまふことなかれ』の作者。	
滝廉太郎：『荒城の月』や『花』を作曲し、日本の西洋音楽の先駆けとなった。	
大正・昭和時代	
昭和天皇：激動の昭和時代に、日本の平和と国民の幸福を願い続けた天皇。	
芥川龍之介：『羅生門』や『河童』など、知性溢れる短編を多く遺した作家。	
宮沢賢治：『銀河鉄道の夜』など、独特の自然観を持つ作品を描いた詩人・童話作家。	
太宰治：『人間失格』『走れメロス』など、人間の苦悩を描いた無頼派作家。	
林芙美子：自伝的長編『放浪記』で一躍人気作家となった小説家。	
湯川秀樹：中間子理論により、日本人として初めてノーベル賞を受賞した物理学者。	
松下幸之助：パナソニックの創業者で、「経営の神様」と称えられる実業家。	
本田宗一郎：ホンダの創業者で、情熱を持ってエンジン技術を追求めた実業家。	
西崎潤一：ミスター半導体と称され、日本の半導体産業を支えた技術者。	
黒澤明：『世界のクロサワ』として知られ、映画史に残る傑作を数多く監督した。	